

資料 23 常設展示室（東光院仏教美術室）の仏像展示公開案（常時 15 軀展示、展示替えは下記 AB2 パターン）

A パターン	B パターン	備考
重文・薬師如来立像 1 軀 総高：約 250cm 台座Φ：約 110cm	重文・薬師如来坐像 1 軀 総高：約 125cm 台座Φ：約 130cm	既存免震台を再利用して立像・坐像共用のベースを設け、坐像展示の際には展示台を置いて高さ調整。下記日光・月光菩薩立像（江戸）も、同一ベース上に展示。360 度から見られる配置とする。
日光・月光菩薩立像（江戸） 2 軀 総高：約 130cm（各） 台座：45×45cm（各）		薬師の両脇（同一ベース上）に配置。
重文：十二神将（平安） 4 軀 最大総高：約 90cm 最大幅約 40cm 台座：幅 36.5×奥行 26cm（各）	重文：十二神将（平安） 4 軀 最大総高：約 90cm 最大幅約 40cm 台座：幅 36.5×奥行 26cm（各）	薬師如来の眷属なので、薬師如来のそばに配置。 既存免震台（44cm 角、高さ 5cm、4 台あり）を使用。
重文・十二神将（南北朝） 4 軀 最大総高：約 150cm 最大幅約 70cm 台座：幅 60.5×奥行 39cm（各）	重文・十二神将（南北朝） 4 軀 最大総高：約 150cm 最大幅約 70cm 台座：幅 60.5×奥行 39cm（各）	薬師如来の眷属なので、薬師如来のそばに配置。 既存免震台（44cm 角、高さ 5cm、4 台あり）を使用。
重文・阿弥陀如来立像 1 軀 総高：約 135cm 台座Φ：約 55cm	重文・日光菩薩立像 1 軀 総高 90cm 台座Φ：35cm	薬師如来と眷属群から少し離れている位置に配置。 既存免震台（60cm 角、高さ 5cm）を使用。
大日如来坐像 1 軀 総高：約 55cm 台座なし 展示必要面積：幅 35cm×奥行 25cm	弘法大師坐像 1 軀 総高：約 60cm 台座なし 展示必要面積：幅 70cm×奥行 60cm	薬師如来と眷属群から少し離れている位置に配置。 既存免震台（60cm 角、高さ 5cm）を使用。
金剛力士（阿形吽形） 2 軀 総高：約 230cm（各） 台座：幅 122×奥行 83cm（各）		仏像群のなかでは出入口に近い場所に配置。 既存免震台（幅 122×奥行 83cm×高さ 21cm、2 台）を使用。

*表中の「台座」は、当初より仏像に付属しているものを指す。「展示台」は新規製作するもの。

*展示台、ベース、免震台の意匠は、見た目を統一すること。

仏像写真一覧



重文・薬師如来立像



重文・薬師如来坐像



日光・月光菩薩立像（江戸）



重文・十二神将（平安）子神



重文・十二神将（平安）丑神



重文・十二神将（平安）寅神



重文・十二神将（平安）卯神



重文・十二神将（平安）辰神



重文・十二神将（平安）巳神



重文・十二神将（平安）午神



重文・十二神将（平安）未神



十二神将（平安）申神



十二神将（平安）酉神



重文・十二神将（平安）戌神



十二神将（平安）亥神



重文・十二神将（南北朝）子神



重文・十二神将（南北朝）丑神



重文・十二神将（南北朝）寅神



重文・十二神将（南北朝）卯神



重文・十二神将（南北朝）辰神



重文・十二神将（南北朝）巳神



重文・十二神将（南北朝）午神



重文・十二神将（南北朝）未神



重文・十二神将（南北朝）申神



重文・十二神将（南北朝）酉神



重文・十二神将（南北朝）戌神



重文・十二神将（南北朝）亥神



重文・阿弥陀如来立像

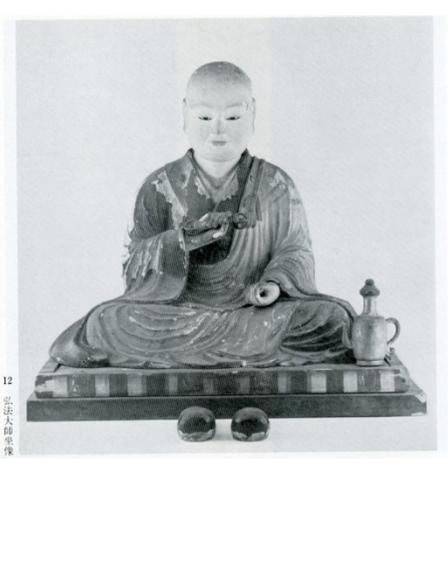


重文・日光菩薩立像



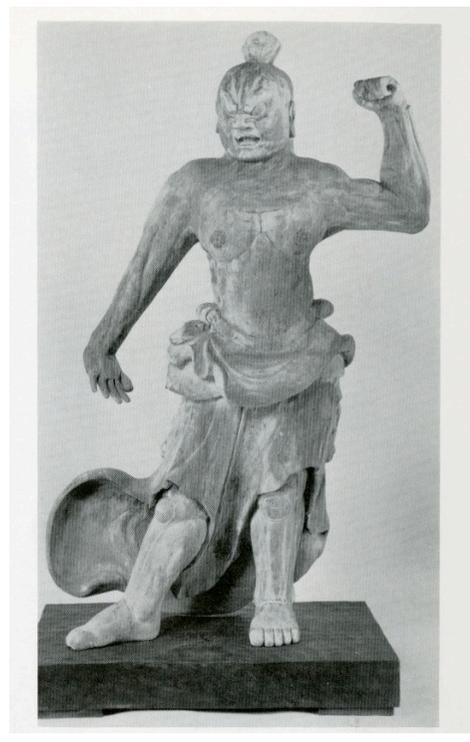
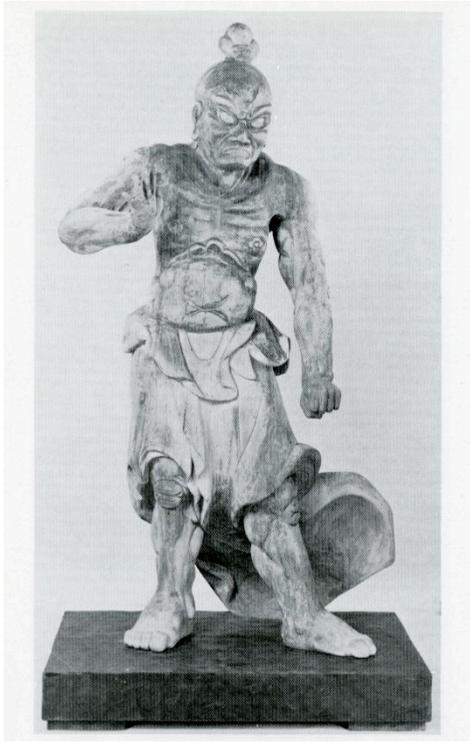
10
大日如来坐像

大日如来坐像



12
弘法大師坐像

弘法大師坐像



金剛力士 (阿形吽形)